

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	鉄道駅の新設に伴う道路ネットワーク網の形成												
計画の期間	平成28年度 ~ 令和02年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○	
交付対象	横浜市												
計画の目標	新設される鉄道駅周辺において、市街地開発事業等を実施し、交通ネットワーク拠点にふさわしい道路等の都市基盤施設の整備を行うとともに、地区内のバリアフリー化を図ることで、誰もが使いやすく安全なまちづくりを推進する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	4,478	A	4,478	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28		R2
1	新設駅周辺における都市計画道路の整備による駅利用者の移動時間の短縮			
	新設駅周辺における市街地開発事業の実施に伴う、都市計画道路の整備による都市基盤機能の強化を評価するため、バスの移動時間を従前と従後で比較し短縮された割合を算出する。	0%	%	40%
2	新設駅周辺の整備状況に対する市民の満足度			
	従後に駅周辺の来街者等にアンケート調査を行い、従前と比べて駅周辺の都市基盤や市民利用施設等の整備状況に対して満足している割合を算定する	19%	%	74%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	横浜市	直接	横浜市	区画	改築	新綱島駅周辺地区((都) 東京丸子横浜線ほか)	L=600m	横浜市						3,240		-
											小計						3,240		
市街地整備事業	A13-002	市街地	一般	横浜市	直接	横浜市	-	-	新綱島駅周辺地区都市再 生区画整理事業	2.7ha	横浜市						1,238	2.56	-
											小計						1,238		
											合計						4,478		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
評価の透明性、客観性、公正さを確保するため、学識経験者を入れた評価を実施	令和2年度末
	公表の方法
	横浜市ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	事業未完了のため、次期計画において評価実施
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
【学識経験者の意見】 綱島駅及び新綱島駅の利用者の歩行動線に配慮し、駅出入口や歩道形状及び横断歩道位置等十分に検討し、事業を進めてほしい。 【今後の方針】 令和3年度より開始する社会資本総合整備計画にて実施し、完了後に効果測定を行います。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	従前と比較し、バスの移動時間の短縮された割合	
	最終目標値	40%
	最終実績値	%
2	従前と比べ、駅周辺の整備状況に対して満足している割合	
	最終目標値	74%
	最終実績値	%